

PEAKS

Leaders' Forum on
Promoting the Evolution of Academia for Knowledge Society

大学支援フォーラムPEAKS 令和7年度全体会合 進行資料

令和8 (2026) 年2月27日

※本資料の内容の一部および全てについて、無断での複製・転載等などの二次利用を固く禁じます。

令和7年度PEAKS 全体会合 プログラム

時間	プログラム	詳細	発言者
1 15:00-15:05	5分 開会挨拶		PEAKS事務局
2 15:05-15:15	10分 PEAKS新体制についての報告と決議		PEAKS事務局 宮園新座長
3 15:15-15:30	15分	事務局説明	PEAKS事務局
15:30-15:33	3分 令和7年度活動報告	博士人材の活躍に向けた産学官連携プラットフォーム 主査よりコメント	佐藤博士PF主査
4 15:33-15:38	5分	事務局説明	PEAKS事務局
15:38-16:00	22分	参加者よりご意見	PEAKS構成員及び代理出席者
16:00-16:10	10分	休憩	
16:10-16:50	40分	参加者よりご意見 (続き)	PEAKS構成員及び代理出席者
5 16:50-17:00	10分 閉会挨拶		宮園新座長 PEAKS事務局

令和7年度 PEAKS 全体会合 プログラム

1. 開会挨拶
2. PEAKS新体制についての報告と決議
3. 令和7年度活動報告
4. 令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換
5. 閉会挨拶

開会挨拶

令和7年度 PEAKS 全体会合 プログラム

1. 開会挨拶
2. PEAKS新体制についての報告と決議
3. 令和7年度活動報告
4. 令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換
5. 閉会挨拶

宮園 浩平 新座長よりご挨拶
(総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

令和7年度 PEAKS 全体会合 プログラム

1. 開会挨拶
2. PEAKS新体制についての報告と決議
- 3. 令和7年度活動報告**
4. 令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換
5. 閉会挨拶

Agenda

令和7年度の活動の全体像

1. 第3期PEAKS実証事業/
PEAKS大学経営改革セミナー/
日本型大学成長モデルアドバイザーWG
2. イェール大学プログラム
3. 博士人材の活躍に向けた
産学官連携プラットフォーム

令和7年度の活動の全体像

「統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）」を踏まえ、下記の目的達成に向け、産業界、大学等、政府関係者から成る「**大学支援フォーラムPEAKS***」を令和元年度に創設（内閣府の委託事業として実施）。

- イノベーション創出につながる**好事例を産学関係者で共有**し、産学ともに横展開を進めていく。
- 改革を進めるために現場が必要とする**規制緩和等の政策を関係府省に提案**し、制度改革につなげる。
- 次世代の研究大学の**経営層を育成**する。

* Leaders' Forum on Promoting the Evolution of Academia for Knowledge Society

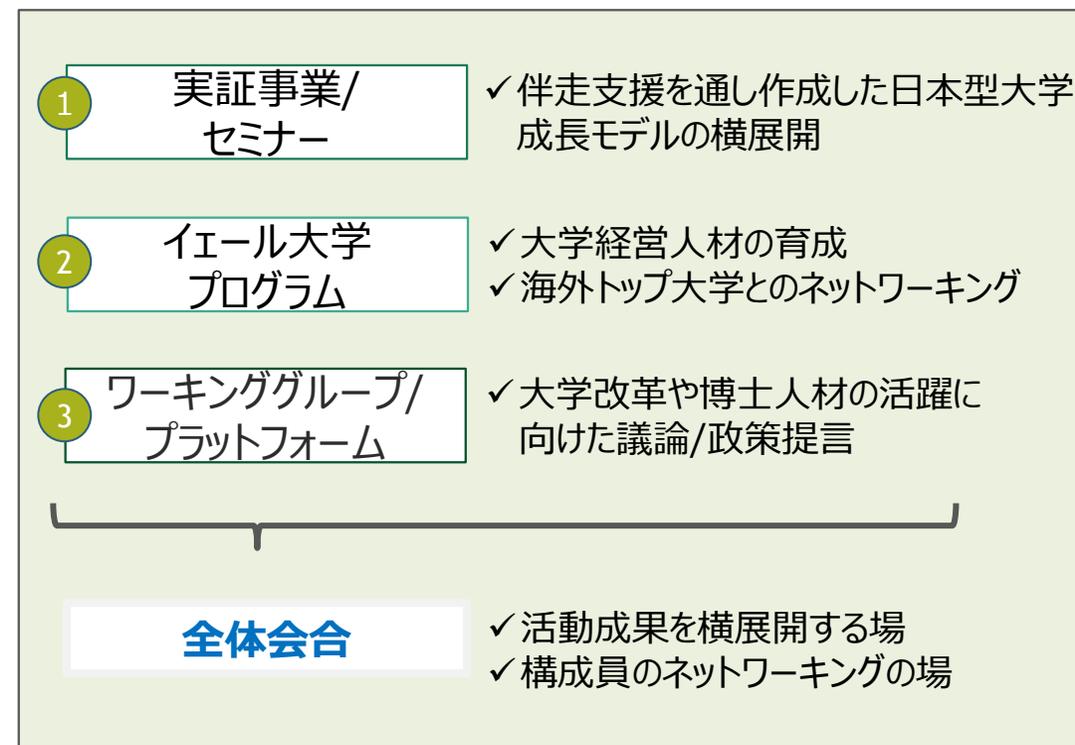
《体制》 ※令和8年1月時点



座長：宮園 浩平 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員

事務局：内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

《令和7年度の主な活動》



Agenda

令和7年度の活動の全体像

1. 第3期PEAKS実証事業/
PEAKS大学経営改革セミナー/
日本型大学成長モデルアドバイザーWG
2. イェール大学プログラム
3. 博士人材の活躍に向けた
産学官連携プラットフォーム

- 事業は終了。各大学が全学戦略を取りまとめ、「ノウハウ集」はPEAKS構成員大学皆様に配布した

実施概要

<目的>

地域中核・特色ある研究大学を目指す大学において、**全学戦略の構築**について、**大学に伴走支援**を行うと共に、**横展開可能なノウハウ**

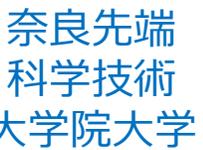
「ノウハウ集」を抽出し、普及を図り、日本の研究大学の更なる成長を図る。

<方法>

事務局 (内閣府・BCG) と外部有識者が、半年間 (令和6年12月～令和7年6月)、戦略構築に伴走。
(リサーチ・論点整理 等)

- 月に1回程度の会議で議論

採択校・成果

大学名	実証テーマ	実現した/今後実現を目指す全学戦略
 	地域社会のニーズに即応できる機動的な人事の在り方・制度を実現する 財務・経営構造の構築	<ul style="list-style-type: none"> 教員人事を一元化し、全学的・中長期的な視座での教員配置を可能にする体制を構築する 中長期的な教員の配置計画を作成する 以って、地域社会のニーズ等に対応するため、重点分野に人的資源を投入できる経営体制への転換を目指す
 	地域中核大学における基金充実のための戦略策定	<ul style="list-style-type: none"> 寄附金をそのまま支出に充てるのではなく、運用益の活用も視野に入れたエンダウメント型の仕組みの構築を進めている <ul style="list-style-type: none"> 東海国立大学機構で、リスク運用での共同資金運用を実現する国内初事例に 寄付金獲得において、大学の強みを活かした、「共創ベース」の提案型へ移行する
 	博士国際人材としての国内定着を目指す 戦略的な留学生リクルートと留学生向けキャリア支援	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内の企業における、留学生の博士課程学生の採用ニーズをリサーチした 企業・大学で連携を今後さらに深めるため、博士国際人材の採用・育成サロンを立上げた 日本語のみならず、「調整力」等も含め、出口を見据えた、博士課程での育成改革を目指す

PEAKS大学経営改革セミナー：実施概要

- PEAKS実証事業のノウハウを広くPEAKS構成員大学に展開するため、「PEAKS大学経営改革セミナー」を実施

背景

- PEAKS 実証事業では、**これまで13大学において**、先進事例を創出してきた
- 今後は、**先進事例をより多くの大学に展開・各大学で改革を**実行****することが重要

令和7年度の取り組み

過去3か年のPEAKS 実証事業で創出した先進事例を PEAKS構成員の他大学に共有し、各大学の改革を推進するため、「大学経営改革セミナー」を令和7年度に3回実施

- PEAKS構成員大学に対して事前アンケートを実施し、大学経営課題として、多くの大学で共通して重要な3つのテーマを設定

テーマ	日程/形式	参加者	アジェンダ
イノベーション エコシステム	令和7年 12/22 12:30 - 14:40 (オンライン)	60名	モデル事例のご紹介 (70分) <ul style="list-style-type: none">九州大学OIP (PEAKS実証事業1期)学校法人立命館 (PEAKS実証事業1期)AIST Solutions (※産総研100%出資の子会社) ディスカッション (60分)
人事改革	令和8年 1/14 13:00 - 18:00 (対面)	39名	モデル事例のご紹介 (2時間) <ul style="list-style-type: none">熊本大学 (PEAKS実証事業3期)新潟大学 (PEAKS実証事業2期) ディスカッション (3時間)
寄付金集め・ 財務 マネジメント	令和8年 2/5 13:00 -18:00 (対面)	45名	モデル事例のご紹介 (2時間) <ul style="list-style-type: none">京都大学 (PEAKS実証事業1期)岐阜大学 (PEAKS実証事業3期)文部科学省 資金運用企画室 (運用に関する情報提供) ディスカッション (3時間)

(参考) 第1期～第3期 PEAKS実証事業の実証大学・実証テーマ一覧

	大学名	実証テーマ	
全学戦略	 広島大学	地域中核大学における新たな経営資源獲得スキーム構築に資する実証事業 - Town&Gown構想との連動による「知のアセット」経営資源化の加速-	
	 北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY	半導体政策に対する大学のあるべき姿のグランドデザイン - 本学がとるべき教育・研究・地域連携に関する戦略 -	
	 大阪大学 OSAKA UNIVERSITY	IR駆動型研究力強化を軸とした全学的経営マネジメント改革 - 部局長の経営マネジメント力の引き上げ -	
研究力強化/ 産学連携/ スタートアップ創出	 九州大学 KYUSHU UNIVERSITY	九大独自の "University Venture Fund" の組成	第1回セミナーでご登壇
	 名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY	大学が大学スタートアップへの直接出資を可能とする大学VCの設立	
	 学校法人立命館	大学が主体となり、ファンド・実証実験を元に、外部の知と内部の知を融合させるモデル	第1回セミナーでご登壇
教育・人材育成	 UTokyo	『『自律的で創造的な大学モデル』の構築』に向けたりカレント教育	
	 (奈良先端科学 技術大学院大学)	博士国際人材としての国内定着を目指す戦略的な留学生リクルートと留学生向けキャリア支援	
財源多角化	 京都大学 KYOTO UNIVERSITY	寄附金募集活動の強化に係る戦略	
	 岐阜大学	地域中核大学における基金充実のための戦略策定	第3回セミナーでご登壇
	 国立大学法人 東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	東京農工大の経営自律化計画の策定とその実現に向けて - 土地建物有効活用を中心に -	
経営システム (人事・財務) 改革	 新潟大学 NIIGATA UNIVERSITY	エキスパート人材の拡大・組織化による中核拠点研究大学の機能強化 (University Administrator制度)	
	 熊本大学 Kumamoto University	地域社会のニーズに即応できる機動的な人事の在り方・制度を実現する財務・経営構造の構築	第2回セミナーでご登壇

「人事改革」セミナー 当日の様子・参加者の声

- 講演に加えて、グループディスカッションでは、人事に関する悩みを本音で議論。参加者の悩みの解消やネクストステップの具体化に繋がった

講演 (2時間)

PEAKS実証校2校 (熊本大学・新潟大学) よりご講演

「その場限り」の约束で、人事改革であつた課題・悩みなど「本音」でのトークをしていただいた



グループディスカッション (3時間)

各グループで「自学に帰ってから取り組みたい内容」について、課題・悩みを洗い出し、具体的なアクションプランを各自策定

登壇者だけでなく、実証に携わった現場担当者などを「アドバイザー」としてお呼びし、参加者の悩みにお答え



事業が出るたびに必要の人をとる「逐次」の発想から転換する必要性を痛感

事後課題 (各自)

セミナーの効果と、各自の具体的な「アクションプラン」について記述

- 全参加者が、「ネクストステップが具体化した」「悩み・課題の解消に繋がる示唆が得られた」と回答

示唆が得られなかった / (0%)

課題やハードル・悩みの解消に繋がる示唆が得られた

82%

100%

ネクストステップが具体的になった

18%

日本型大学成長モデルアドバイザーWG：最終まとめの作成

- PEAKSでは、「日本型大学成長モデル」を構築し、横展開するために、令和4年12月に「日本型大学成長モデルアドバイザーWG」（「日本型大学成長WG」という）を設置して議論を重ね、令和6年3月に「中間まとめ」を報告した。
- 令和7年度は、「中間まとめ」の提案後に実施されてきた政府関連施策、PEAKS実証事業及び大学経営改革セミナーの成果を整理し、「日本型大学成長WG」の最終まとめを作成した。

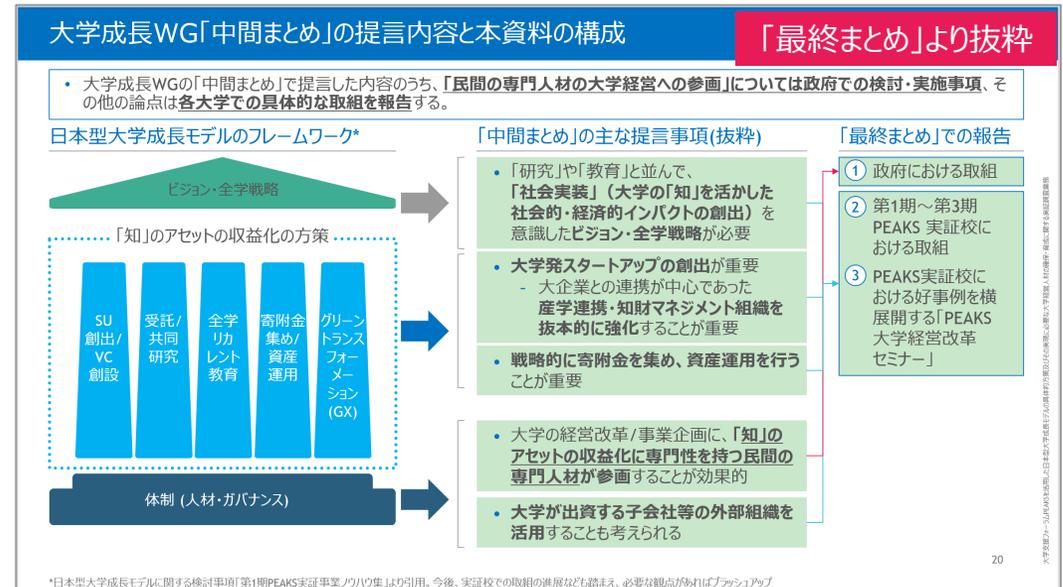
背景

- PEAKSでは、令和4年12月に「**日本型大学成長モデルWG**」を設置した。
 - 主査：安西 智宏 様
(株式会社ファストラックイニシアティブ 代表パートナー)
- 本WGでは、大学が有する「知」のアセット収益化を通じて、持続的な大学の事業成長を実現するために、日本の研究大学に求められる事項を整理した。
- **令和6年3月1日に「中間まとめ」として、全体会合に報告した。**
- WGにて議論した内容及び「中間まとめ」で提言した事項は、政府での取組や、PEAKS実証事業などにおいて、実装が進んできた。

令和7年度の活動

「中間まとめ」における提言の実施状況を整理した「最終まとめ」を作成・委員皆様にご報告した

- 「最終まとめ」は、本日別添資料にてご共有



Agenda

令和7年度の活動の全体像

1. 第3期PEAKS実証事業/
PEAKS大学経営改革セミナー/
日本型大学成長モデルアドバイザーWG
2. イェール大学プログラム
3. 博士人材の活躍に向けた
産学官連携プラットフォーム

イェール大学プログラム：実施概要

- 令和7年度のイェール大学プログラムは、産業界からの参加や参加者のネットワーキングを強化するため、ニューヨークの産学連携拠点視察や、参加者からイェール大学に対してのピッチセッション等をプログラムに新規導入。結果、産業界から2名にご参加いただいた。

国内事前研修

日時 令和7年10月26日（日）13:00～17:00（対面形式）
 概要 日本、米国の大学政策・経営、産学連携における最新動向の理解を深め、講義・議論を通じたネットワークを構築

アメリカ現地研修

日程 令和7年11月3日（月）～11月7日（金）
 概要 ニューヨーク州及びイェール大学現地における視察・講義・議論・ネットワーキング
 （下表参照；赤字はR7年度新規内容；■：ニューヨーク市にて実施、■：イェール大学にて実施）

最終振り返り研修

日程 令和7年12月6日（土）13:00～15:30（対面形式）
 概要 アメリカ現地研修を踏まえ、各受講者からの「変革への挑戦」の発表、上山参与及びアラムナイとの意見交換を実施

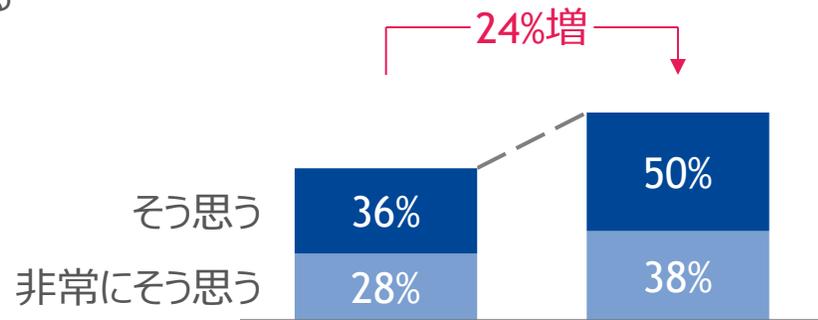
	コンテンツ	登壇者		コンテンツ	登壇者
1	Cornell Tech視察・意見交換	Greg Morrisett (Dean & Vice Provost and Krystyn Van Vliet, Vice President for Innovation and Corporate Engagement)	8	イノベーション促進・支援のための大学戦略	Josh Geballe (Senior Associate Provost for Entrepreneurship and Innovation and Managing Director of Yale Ventures)
2	ニューヨーク市経済開発公社（NYCEDC）視察・意見交換	Josefina Echeverría (Project Manager, Partnerships)	9	卒業生との関係構築	Alan Baubonis (Director, International Development)
3	マクイニス学長とのO&Aセッション	Maurie McInnis (President)	10	戦略的財務計画	Stephen Murphy (Vice President for Finance and Chief Financial Officer)
4	研究の優先分野と計画／イェールの最先端研究の理解	Mike Crair (Vice Provost for Research and the William Ziegler III Professor in the Departments of Neuroscience and Ophthalmology & Visual Science)	11	アメリカの研究大学の組織とガバナンス／教員のマネジメントとリーダーシップ	Steven Wilkinson (Dean of the Faculty of Arts and Sciences, and Nilekani Professor of India and South Asian Studies)
5	バイネッケ・レア・ブック & マニユスクリプト図書館ツアー	Natalie Semmel (Community Engagement and University Archives)	12	イェールビジターセンターでのディスカッション & イェール美術館含むキャンパスツアー	Nancy Franco (Director of Yale Visitor Center)
6	イェールのレジデンシャル・カレッジ制度についてのディスカッションとツアー	Daniel Botsman (Sumitomo Professor of History)	13	博士課程学生のためのキャリア戦略の構築	Hyun Ja Shin (Director of Graduate and Postdoctoral Career Services, Office of Career Strategy)
7	大学・政府・産業のイノベーション・エコシステム（パネルディスカッション）	Takahiro Ueyama (Special Advisor, Council for Science, Technology, and Innovation, Cabinet Office, Government of Japan) Kathy Lynch (University Director, Corporate Strategy & Engagement) Tim Miller (Vice President of Business Development, AdvanceCT)	14	イェール大学大学院生に向けたパネルディスカッション：外国人博士人材の日本のアカデミア/産業界キャリア	Japan PEAKS participants
			15	研修員からイェール大学に向けた協働提案のピッチセッション	Japan PEAKS participants

2025年度は、**国公私大教職員23名、産業界2名**が参加

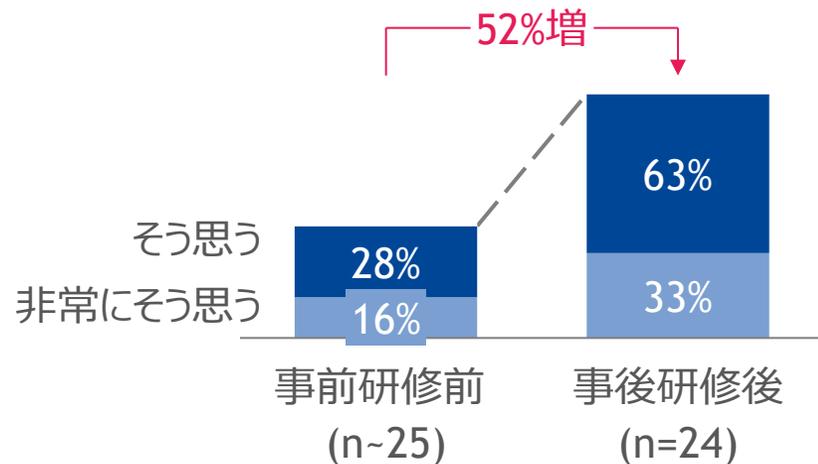
イェール大学プログラム：獲得目標の達成度

- 令和7年度のイェール大学プログラムは、4つの獲得目標（以下質問項目参照）を設定し、プログラムを構築した。
- 各獲得目標の達成度について、最終振り返り研修後に行ったアンケートの結果からは、**研修の目標が十分達成できた**ことが窺える。
- 令和8年度もイェール大学プログラムの実施を検討しており、**PEAKS構成員の組織からのご参画をぜひご検討いただきたい**。

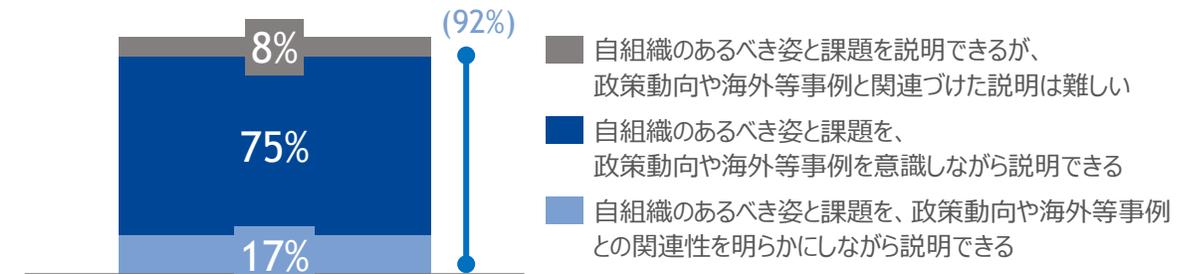
Q1. 国内外の産学官との連携によって、イノベーションが起こせる自信がある



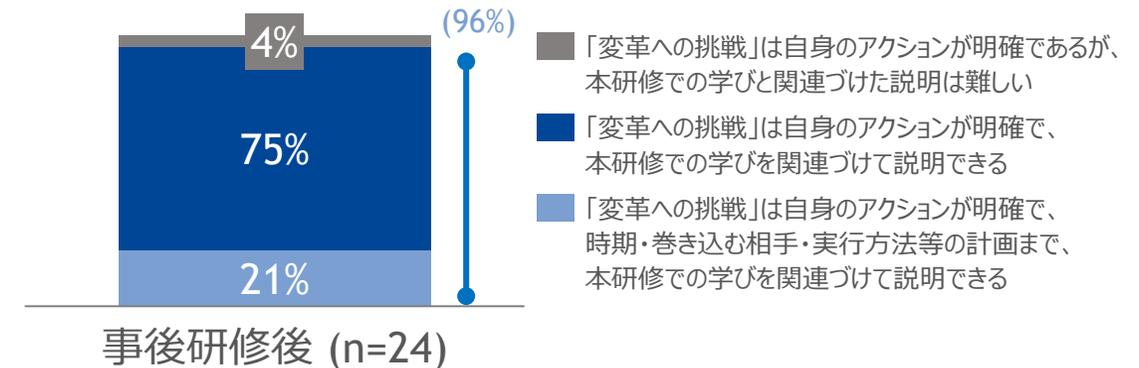
Q2. 産学連携及び科学技術・イノベーションの推進に繋がる人的ネットワークを得ており、各自の所属組織においてそれを活用していけると感じる



Q3. 我が国の大学、及び科学技術・イノベーションに関わる政策動向、イェール大学等事例を踏まえ、各自の所属組織のあるべき姿と課題を把握できている



Q4. 所属組織の抱える課題を乗り越えるための知識を得て、今後具体的に取り組みたいこと（変革への挑戦）が明確化されている



イェール大学プログラム：アルムナイ同士のネットワーキング促進

- 令和7年度のイェール大学プログラム実施に関連し、アルムナイ・イベントの開催や連絡先共有などにより、**過去参加者同士のネットワークづくりとコミュニティ活用を促進**

R6研修員フォローアップ研修及びアルムナイの会

【開催日時】 令和7年 7月14日 15:00~17:00

【参加者】 56名

- イェール大学プログラム 過年度参加者
- (文部科学省事業) 大学トップマネジメント研修 研修生の会 (TUM の会) メンバー

【実施形式】 内閣府講堂とオンラインのハイブリッド実施

【内容】

- ①R6イェール大学研修生の「変革への挑戦」のフォローアップ
 - 研修で得た知見/ネットワークの活用状況の共有
 - R6参加者の「変革への挑戦」を推進するため必要なアクションを議論
- ②これからのPEAKSの在り方を考える
 - 日本全体の科学技術・イノベーション推進にむけた課題に視座を高め 個々の大学・企業の垣根を超えた変革に必要な取組を議論

「縦の繋がり」をつくるための連絡先共有

【実施日】 令和8年 2月6日 (メール)

【参加者】 119名

【目的】

- イェール大学プログラムの過年度参加者が、組織を超えて連携し大学改革等の取組みを推進するための土壌を形成する

【実施内容】

- イェール大学プログラムの過年度参加者のうち、希望者を対象に、名前・所属及び連絡先情報の一覧をメールにて相互共有

Agenda

令和7年度の活動の全体像

- ① 第3期PEAKS実証事業/
PEAKS大学経営改革セミナー/
日本型大学成長モデルアドバイザーWG
- ② イェール大学プログラム
- ③ 博士人材の活躍に向けた
産学官連携プラットフォーム

PEAKS 博士人材の活躍に向けた産学官連携プラットフォーム

- 令和7年1月に設置した「博士人材の活躍に向けたプラットフォーム」では、計7回の会合を重ね、**産学官から計234名 (延べ471名) にご参加**いただいた。
- 会合での議論を踏まえて、**産学官のアクション案を提示する「取りまとめ」を作成**しており、本日、ご報告させていただきたい。



目的

- 産学官が定期的に対話・情報交換を行い協働先を見つける**ネットワークづくり**のための場を作る
- 「**産学人材流動WGアクション・プラン**」の**実行・改善**に加え、**博士人材活躍の新たなモデルケース**を創出する
- 政府関係者も含めた対話を行い、産業界・大学発の**政策提言の場**としても活用する



参加者

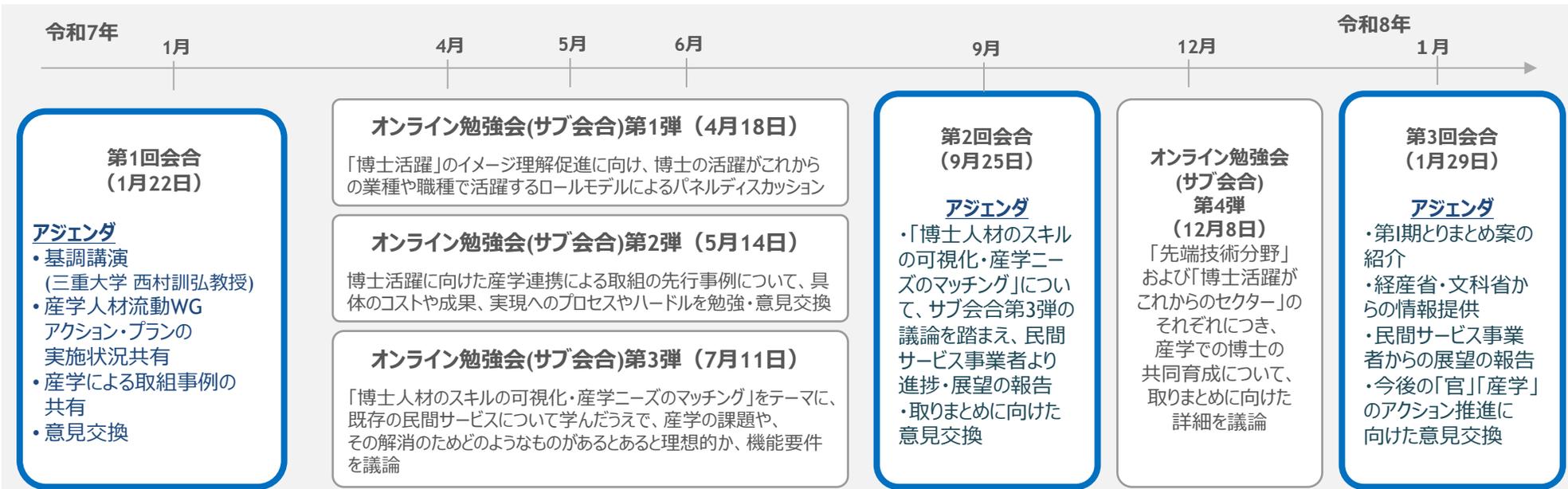
- 産学及び関係省庁 (経済産業省、文部科学省、内閣府) から計234名 (延べ471名) が会合に参加
- 産業界は、製造業、製薬企業、金融/保険業等の、研究開発部、人事部の管理職から担当者まで幅広く
 - 大学は、国公立大学・私立大学いずれからも、博士人材の教育・キャリア支援に関わる教員・職員・URAなど、幅広く



活動内容

- 会合を計7回実施 (各回の詳細は下図参照)
- 会合外で、事務局-参加者間での個別議論、及び、事務局が橋渡し参加者同士のネットワーキングを実施

議論を整理し、
産学官への
アクション案を
提示する、
「取りまとめ」を作成
(別添資料にて説明)



「科学技術を通してのイノベーション創出」に向けた、産業界における博士人材活躍推進に向け、**2つの課題認識のもと、3つの基本方針を設定**

ビジョン

日本を「**世界で最もイノベーションに適した国**」にするため
博士人材を知識基盤社会の中核とする

課題認識

重要技術分野 (AI・半導体等) の研究開発
を担う博士人材の「**数**」が不足している

「業種」・「職種」によっては
博士人材の**活躍が進んでいない**

進んでいない「業種」イメージ：金融/保険・商社

進んでいない「職種」イメージ：ビジネス職・経営層

基本方針

A

重要技術分野における
**産学での博士人材
の共同育成**

B

博士人材の活躍の幅を広げる
**キャリアパス・スキルの
整理・可視化**

C

博士人材の活躍の幅を広げる
育成改革

博士PFの取組を通し、3つの基本方針に関連した、変化の兆しが表れている。今後、産学官で変革を進め、3つの基本方針を具体化するため、5つのアクション案と1つの今後取り組むべき方針案を提起する。

基本方針

博士PFにおける変化の兆し

変革に向けた今後のアクション

- : 具体的なアクション案
- : 今後取り組むべき方針案

A
重要技術分野における
産学での博士人材の共同育成

- 「卓越社会人博士制度」が博士PFで紹介され、PF参加企業内で導入検討・PF参加産学での対話も開始している
- 関係省庁での関連事業につき、産学の現場から見た実行上の論点を提起している

A1 企業が資金・人材等を提供して、博士人材を産学で共同育成する仕組みの推進

A2 博士人材の育成を府省庁横断で推進する仕組み作り

B
博士人材の活躍の幅を広げる
キャリアパス・スキルの
整理・可視化

- 博士人材の活躍がこれからの業種・職種のリールモデルの紹介(例: コンサルティング業、化学メーカー人事職)を行い、PF関係者間の意識の変化に繋がっている
- 博士人材のトランスファラブルスキル可視化を叶える「システム」の要件を整理し、民間システム事業者での実装が始まっている

B1 “博士人材の活躍がこれからの業種・職種”での博士ロールモデル創出・そのための人事制度等整備

B2 産業界が求めるトランスファラブルスキルの可視化・マッチング
・民間マッチングシステム事業者の取組を産学で後押し・活用
・可視化に必要な能力・要素を、産学により明確化

C
博士人材の活躍の幅を広げる
育成改革

- 博士課程学生と産業界の接点を増やす好事例が博士PFを介し横展開されている

C1 産学での「共創」による人材育成と、そのための博士人材と産業界の接点強化

C2 大学におけるトランスファラブルスキルの育成のための教学の在り方改革

佐藤 康博 博士人材の活躍に向けた
産学官連携プラットフォーム主査 より
(総合科学技術・イノベーション会議 非常勤議員、
株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問)

令和7年度 PEAKS 全体会合 プログラム

1. 開会挨拶
2. PEAKS新体制についての報告と決議
3. 令和7年度活動報告
4. **令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換**
5. 閉会挨拶

令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換

- PEAKS構成員および代理人の皆様より、1人1分以内で、以下の内容についてご意見をいただきたい。
- いただいたご意見は、令和8年度以降のPEAKSの活動に活かす予定。

背景

- これまでPEAKSは令和元年の設立時に設定したビジョンを基に活動し、国際卓越研究大学制度の検討に寄与するなど、一定の成果を出してきた。
- 今後のPEAKSの活動については、「新技術立国」の実現に向けて、第7期科学技術・イノベーション基本計画の方向性等も踏まえ、さらに検討する必要がある。

ご意見をいただきたい点

- 大学支援フォーラムPEAKSで、今後主体的に取り組んでいくべきテーマは何か
 - **PEAKSの特徴・強み**を踏まえ、ご意見・ご提案をいただきたい
 - ご参考：事務局案（次頁）

PEAKSのこれまでの活動(実績)

活動形態

- WG活動 例) 産学人材流動WG
産学官の有識者による、大学のマネジメント改革等に向けた政策提言
- プラットフォーム活動 例) 博士人材PF
博士人材の活躍促進に向けた具体的な取組創出に向けた、現場レベルの議論・ネットワーク形成
- 経営層育成 例) イェール大学プログラム
大学等の次期経営層の育成とグローバルなネットワーク形成

今後のPEAKSの活動内容(案)

活動形態

- WG活動
 - ・各省による政策方針を、より尖ったものにするため、PEAKS構成員を中心とする産学官が集まり議論
 - ・テーマにあわせて、関連省庁を巻き込み議論
- プラットフォーム活動
 - ・上記WGでの議論を、試行実施し、先行事例を創出
 - ・立場・所属を超えた現場目線での課題の洗い出し・横展開
- 経営層育成
 - ・大学等の次期経営層の育成の在り方検討
 - ・ネットワーク活用

テーマ(案)

【総論】

- 科学とビジネスの近接化の時代において、「新技術立国」の実現に向けて、**産学(官)が求められる役割**(の変化)への対応
- 科学技術研究における競争力の強化

【知の社会実装】

- 従来の組織ベースを超えた、**継続的な共同研究の推進**
- 大学シーズの戦略的活用（特許、SU創出等）**

【科学技術・イノベーションを支える人材】

- 産学官連携による専門人材の育成（大学の研究シーズと社会実装を繋ぐ人材の育成）
- 大学と産業界の**人材流動性強化**（研究者、技術者、経営や財務の専門人材等）
- 大学経営人材の育成

【イノベーションの源泉である大学の組織・ガバナンス】

- 大学で学外連携・リソース配分・資金運用等を戦略的に実施するために必要なガバナンス
- 大学経営人材**や、**財務等の専門人材**の全国的**プール化・流動性強化**
- 経済安全保障（研究セキュリティ等）**への対応

・産学と関連府省庁が横断して議論が可能
・現場レベルの議論も踏まえ政策提言が可能
という、**PEAKSの特徴・強み**を活かしつつ今後の活動を検討

令和7年度 PEAKS 全体会合 プログラム

1. 開会挨拶
2. PEAKS新体制についての報告と決議
3. 令和7年度活動報告
4. 令和8年度以降のPEAKSの取組に関する意見交換
5. 閉会挨拶

宮園 浩平 座長よりご挨拶
(総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

大学支援フォーラム PEAKS